

2019 年度の計画(支援内容)

3 月 24 日の役員会と 4 月 13 日の唐丹小・中学校長との話し合いで、下記のようなことを決めました。

◆学校訪問

1. 唐丹小中学校合同運動会・・・5 月 18 日 (土)
 2. 唐丹小中学校合同文化祭・・・10 月 26 日 (土)
 3. 唐丹中学校卒業式・・・2020 年 3 月 14 日 (土)
 4. 唐丹小学校卒業式・・・2020 年 3 月 18 日 (水)
- (1 ヶ月前に HP で参加者の募集をします。)



◆「唐丹希望基金感謝の集い」の会 2020 年 3 月 14 日 (土)

昨年度から学校に解散会の持ち方を相談しておりましたが、今年 3 月、学校から学校主催で「唐丹希望基金感謝の集い」を行うとのお話がありました。詳細について、秋頃までには学校から報告いただけるものと思います。菊池 正道唐丹中学校 校長は「基金の皆様、中学校の卒業式に参列していただき、その後、小学校全児童父母、中学校全生徒父母、2011 年以降の卒業生と父母にも呼びかけ、昼食を共にしながら『感謝の集い』を計画しています」と伺いました。支援者の皆様に、今年中にご案内できるよう準備いたします。

「希望基金」としては、これが最後の唐丹訪問の機会になりますので、30 人位の「旅行団」を結成して、出来るだけ多くの方の参加が出来るようにしたいと思います。

◆支援金について

今年度をもって支援金を打ち切りますので全児童、生徒に支援金を贈ります。支援金は、これまでの積立金と今年度の募金で賄える試算です。今年度もこれまで同様の募金をお願いします。

1. 唐丹小学校児童…在校生全児童に 2020 年 3 月に 7 万円を支給します。(児童数 44 名)
2. 唐丹中学校生徒…在校生全生徒に 2020 年 3 月に 12 万円を支給します。(生徒数 32 名)

◆唐丹小中学校体育館へのピアノ購入支援について

もと小学校にあったピアノは津波で破損し、現在使っているピアノは、ある音楽大学の中古品ですが、痛みが激しく、もう限界にきています。釜石市にも学校にも、新たに購入するお金がないということで、「唐丹希望基金」に支援の要請が来ました。費用は 260 万円ほどかかりそうです。役員会で討議しましたが、この額は、ほぼ 1 年分の支援金に相当するので、会員の皆さんに、更に 1 年の支援の継続の願いをするような形で、何とか要望に応えようということになりました。

来年の「感謝の集い」で、集いを催してくださったお礼のような形で、ピアノを贈呈できれば最高です。そんな気持ちで、新たに「ピアノ募金」に取り組むことになりましたので、ご協力をお願いします。

6 月中には、趣意書なども作って、皆様にお届けしますので、ご協力をお願いいたします。

◆2020年3月31日「唐丹希望基金」を解散し、更なる歩みを続けます。

「唐丹希望基金」は、2020年3月をもって終了しますが、支えて下さっている方々から、「折角出来た絆を大切にしたい」「今後も何らかの形で唐丹にかかわっていききたい」との声が届いておりました。その声を尊重し、代表を務めてきた高館千枝子はその意思を引き継ぎ、次のような支援をしたいと考えています。これらの支援を可能にするため、改めて賛同者を募りたいと思います。まだ、まだ、厳しい被災地の現実に寄り添っていききたいと思うのです。

1. 入学式、卒業式のお祝いに「紅白餅」を贈呈。
2. クリスマスケーキのプレゼント
3. 2022年度以降の中学校卒業アルバムの贈呈。

卒業アルバム代金がかかなり高いことがわかりました。2018年度小学校卒業アルバム代金は28,000円でした。この代金は7万円の支援金から支払われ、残りを父母に渡したとの報告をいただきました。アルバムがこんなに高い理由は、クラスの数人が少ないので、頭割りすると、1冊当たりの値段が割高になります。

小学生には2025年卒業生まで7万円を支援しますので、当分はこの支援金で支払うことができます。中学生は2021年度卒業まで支援金があります。

4. ハソウ贈呈を2021年度卒業生まで延長する。

◆「唐丹希望基金へ関わってきた9年間の思い」の募集

「唐丹希望基金」の解散に当たり、皆さんの声を募集いたします(締め切り:2020年3月25日)。メール、FAX、手紙等で一言でも結構、また、思い余る気持ちを詳しく…、唐丹希望基金を支えてくださった方、全員の思いが知りたいのです。

2020年4月からHPに掲載し、9年の思いを共有しその先に進む力にかえたいと思います。

◆最後に私の個人的な思いを

私は、2011年から9年間続けた唐丹希望基金の中から生まれた精神を携え、人生の最期まで、あの時の誓いを貫いて生きていく事に決めました。

東日本大震災は、人の生き方を問い続けています。真の生き方を。

1. あなたは、目の前の惨事を心から悼み、共存社会を創る一員になれますか？
2. あなたは、社会の一員としてどんな行動がとれますか？
3. あなたは、主体的な人生の創造のため、他者に対しどのような行動がとれますか？

私は、あの時から、一生問い続けることを誓いました。

「真実を生きるただの人になりたい。」

これは、私の人生の指針であり、「道しるべ」です。

平成 31 年度 唐丹中学校入学式

高館 千枝子

2019 年度唐丹中学校入学式は、4 月 4 日（木）に行われました。つい、2 週間前に小学校を卒業したばかりの 9 名の子供たちは、真新しい制服で身を包み、堂々と入場。その姿に頼もしさを感じました。

式の終わりに、全員がステージに上がり、自分の言葉で、中学校生活の決意を述べました。その姿は希望に満ち、その言葉には中学校生活の期待に溢れていました。小学時代と同じ校門をくぐり、入学式に臨んだ彼らの姿に「中学生の覚悟」が感じられました。



【中学校生活の決意の言葉】

◆一関 航帆

僕が中学校で頑張りたいことは部活です。

先輩方の姿を見て、強くなれるように一生懸命頑張りたいです。

◆上野 真翔

僕はバドミントン部に入って大会で、良い成績を残したいです。

つらい練習でも、頑張りたいです。

◆大阪 凛

私は、勉強と部活の両立をがんばりたいです。

勉強では、分からない所を、そのままにしない。部活では、体力作りをがんばります。

◆鈴木 春花

私が中学校生活でがんばりたいことは部活と勉強の両立です。

部活では、一つ一つの練習を真面目にやり、勉強では、復習や予習を中心にがんばります。

◆宗 愛依

私は、陸上で良い成績を残すために、部活を一生懸命がんばって体力をつけます。

そして、陸上で市内ベスト 3 に入れるようにがんばります。

◆鈴木 湊

私は勉強と部活を両立させるために、計画的に取り組みたいです。

◆鈴木 春陽

私が中学校に入って頑張りたいことは、部活です。

部活と勉強で大変ですが、一生けん命がんばりたいです。

◆武藤 詩織

私が中学校に入って頑張りたいことは、勉強です。

部活もあり、少し、大変だと思います。なので、家庭学習もしっかりやりたいです。

◆村上 颯斗

僕は、バドミントン部に入って、練習をしっかりがんばって、大会に出られるようにしたいです。

大会では、毎日、努力して上位をとれるようにしたいです。

平成 31 年度 唐丹小学校入学式

高館 千枝子

2019 年度唐丹小学校入学式は、4 月 6 日（土）に行われました。

7 名の新入生を温かく迎え入れたのは、佐々木 康人校長と 11 名の先生たち、そして、37 名の上級生。校長先生との「三つの約束」の一つ一つに「はい！」の大きな声が体育館に響き、会場内は新鮮な空気に包まれ、みんなの心を明るく灯してくれました。一つ、あいさつのできる子供になりましょう。二つ、お返事は大きな声で答えましょう。三つ、お友達をたくさん作ってください。7 人の新入生はみんなの前で大切な約束をしました。児童を代表し児童会長 岩澤 優真君が歓迎の言葉を述べました。



※ ①～③は、このまね印刷版は四半紙を複製しております。



[東日本大震災 2011・3・11] を歌い継ぐ

♪♪♪♪...「鎮魂の歌」を歌おう...♪♪♪♪

作詞 千葉 隆男 作曲 太田代 政男

—参加登録募集(2020年まで)—

登録 Mail-Address : tchieko@cocoa.ocn.ne.jp

登録 50,000 人達成に向かって

[鎮魂の歌登録方法] : <http://eec-2020.com/company.html>

【2019 年度 登録者一覧】

参加者 50,000 人目標!

参加者 21,349 名
毎月末に更新予定
(2019・4・30 現在)

◆4月23日(火) 嶋沢 純子 (京都アンサンブルコスモス代表)

この度は遠方遥々お運び頂きまして有難うございました。コンサートが無事終了しました事は、皆様の応援のお蔭です。前奏にハソウを入れず申し訳ありませんでした。最後にハソウが鳴り響いたのも良かったのではないのでしょうか。

坂口さんとても良く音が出ていましたね。感心しましたし、会場全体の人々の胸に鳴り響いたと思います。最後の演奏が出来、本当に良かったです。又来年春の卒業式出席でお会い出来ますように!!

登録がおそくなりました。出演者35、入場者50、講師11、スタッフ3、合計99名です。よろしくお願ひします。

◆4月21日(日) メリーハーツエル・節子 (USA・バッファロー)

3月にナイアガラ大学の日本語教室で「鎮魂の歌」を13人で歌いました。

メロディーが素晴らしく、普段にも口ずさんでいます。

